

課題

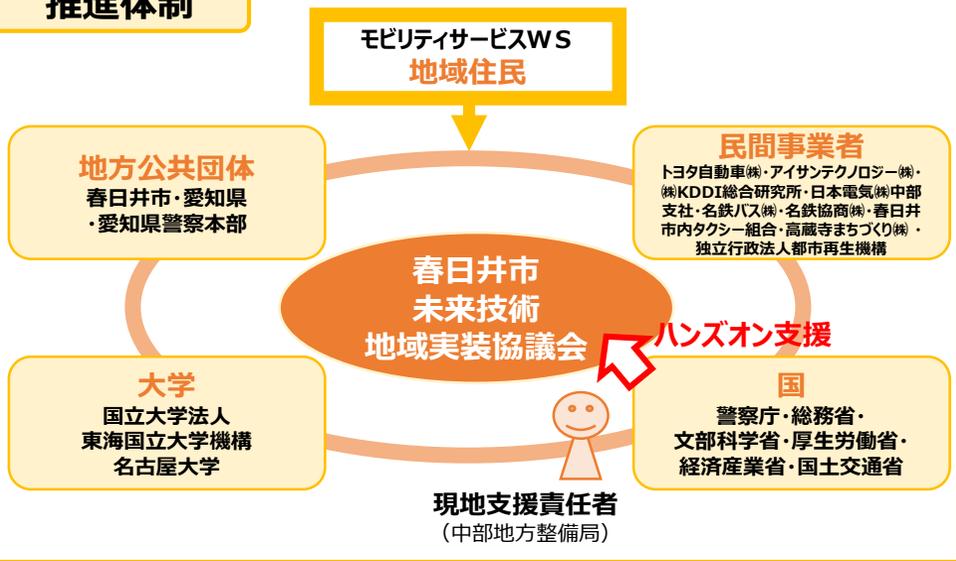
- ニュータウンの**高齢化率は約35%**で、増加傾向。**坂道や起伏が多い地理的特性**により、**高齢者等の外出機会の減少**が懸念される
- ニュータウン内の基幹交通である**路線バスの運行本数**は、ピーク時（H7）と比較し**約3/4にまで減少**。免許返納後の移動手段の確保が必要

高蔵寺ニュータウン



(写真：春日井市提供)

推進体制



課題解決に向けた取組

ニュータウン版MaaSの検証に基づく新しいモビリティサービスの社会実装  
⇒新たなモビリティサービスと既存交通とのベストミックスを構築

- 高齢者の外出支援等を目的として、新たな移動手段について以下のような実証実験を推進
  - ・地域住民との協働による**ラストマイル型ゆっくり自動運転**（レベル3）
  - ・交通事業者との連携による**AIオンデマンド乗合サービス等実証実験**
  - ・基幹交通と他のモビリティサービスを組み合わせた**交通拠点づくり**
  - ・車両位置情報等を共有化する**交通社会ダイナミックマップ**の活用検討
  - ・**MaaSアプリによるデジタルチケット**や、異なる事業者間の連携による**共通乗り放題乗車券** など



AIオンデマンド乗合サービス実証実験



ゆっくり自動運転実証実験

(写真：春日井市HPより)

2021年度の主な取組

- ラストマイル自動運転について、引き続きの実証実験とともに地元・行政・事業者間の役割分担やランニングスキームを整理
- AIオンデマンド乗合サービスは協賛施設の追加、試験的な運行エリアの拡大を実施
- 高蔵寺ニュータウン内路線バス乗り放題 1日乗車券の実証実験を実施

取組内容

(写真・図：春日井市提供)

高蔵寺地区路線バス乗り放題 1日乗車券の実証実験（2022年3月）

- 春日井市、名古屋大学、名鉄バス等の連携により、異なる交通手段間のシームレスな乗継ぎの提供による、公共交通の利用促進や利用者の利便性向上を目指して、高蔵寺地区（以下「対象地域」という）の全ての路線バス（名鉄バス、サンマルシェ循環バス、かすがいシティバス）が乗り放題となる1日乗車券を期間限定で販売
- 乗車券の利用する日を、購入者等がコイン等で削り、乗車日を削った乗車券を運転手に提示
- 異なる事業間の決済連携は春日井市内において、初の取組みであることから、料金設定や実施範囲、採算性、乗換ニーズの把握や事業実施における課題の洗い出しを行い、将来的にはデジタルチケットによるWEB決済、相互乗車を目指す



券面（予定：大人、小児、ウラ）

## 取組内容

(写真：春日井市提供・春日井市HPより 図：名古屋大学HPより)

## 地域密着型MaaSアプリ実証実験 (2020年12月18日～2021年2月28日)

- 春日井市と名古屋大学、KDDI、KDDI総合研究所の連携により、既存公共交通（路線バス等）や自家用車、徒歩など様々な移動手段で目的地までの経路を案内するMaaSアプリを開発。商業連携クーポンや**特定のモビリティサービスの利用に基づき、より割引率の高い商業連携クーポンの利用が可能となる**地域密着型MaaSの実証実験を実施
- 高蔵寺ニュータウン在住の子育て世代・若い世代を主とした一般市民モニター90名を対象（モニター以外もアプリ利用は可能だが、特定のモビリティサービスの利用に基づいた、より割引率の高い商業連携クーポンの利用は不可）
- アプリでは、高蔵寺ニュータウン周辺などの**移動手段の一括検索**や**AIオンデマンド乗合サービスの検索・予約・事前決済**、高蔵寺ニュータウン周辺の**協賛店舗で割引クーポンの利用**ができる



アプリ画面  
 (画像左)  
 ルート検索  
 (画像中央)  
 AIオンデマンド乗合サービス予約  
 (画像右)  
 クーポン内容確認



